※令和３年度以前入学生用

学校番号	3018

令和５年度　福祉科

教科	福祉	科目	介護総合演習	単位数	１単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	「実習日誌」　「見て覚える介護福祉士国試ナビ」（中央法規） 「介護福祉士重要過去問　完全マスター問題集」（ナツメ社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

介護を必要とする人の自立した生活を支援するための安心・安全な介護技術を学び、施設実習やボランティア活動を通じて実践力を高めていきます。３年生では、利用者一人ひとりの状態や生活状況に応じた具体的な介護場面を想定した介護技術を学ぶことで、介護福祉士として必要な実践的な介護技術と知識を身に付けます。

①特別養護老人ホームなどの社会福祉施設での実習に向けて、興味や関心を持って授業に取り組み、グループワークや発表など、積極的に参加しましょう。

②国家資格である介護福祉士の受験資格を取得するために必要な科目です。

③介護福祉士の合格をめざして主体的に家庭学習を行い、単に知識を身に付けるだけではなく、実践的・体験的な学習活動で得た知識や技術を活用して、介護現場の状況に応じた判断力や実践力を身に付けましょう。

２　学習の到達目標

介護演習や事例研究などの学習を通して、専門的な知識と技術の深化、統合を図るとともに、課題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	多様な介護現場での実習に向けて介護の仕事について関心を持ち、介護福祉士をめざして、主体的に取り組むとともに実践的な態度を身に付けている。	多様な介護現場での実習に向けて、基礎的な知識と技術を統合し、介護福祉士として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。	多様な介護現場での実習に向けて、介護を実践する際に必要な尊厳の保持や自立支援の観点に立った基本的な知識と技術を統合し、根拠にもとづいて安全に支援できる技術を適切に活用している。	多様な介護現場での実習に向けて、基礎的・基本的な知識や技術を統合し、高齢者や障がい者の尊厳保持や自立支援による適切かつ安全な介護の基本を理解している。
評価方法	・学習状況の観察 ・グループワーク ・ワークシート ・発表	・学習状況の観察 ・グループワーク ・ワークシート ・発表	・グループワーク ・ワークシート ・発表	・定期考査 ・小テスト ・ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	B	c	d		
1学期	Ⅰ 春期施設実習に向けて	Ⅰ 春期施設実習に向けて 1 介護福祉士国家試験問題を活用した事例検討	○			○	a: 介護現場を想定した事例問題を通じて、興味や関心を持って取り組んでいる。 b: 利用者の心身状況に応じた支援方法について考察し、表現することができる。 c:国家試験問題について過去問題を収集・分析し、適切に活用している。 d:介護現場を想定した事例問題を通じて、利用者の心身状況に応じた介護技術や知識を身に付けている。	・学習状況の観察 ・グループワーク ・ワークシート ・小テスト ・定期考査 ・発表
		2 特別養護老人ホーム・介護老人保健施設での実習(6月)とは 3 実習ガイダンスに向けて 4 実習の諸注意・実習目標	○	○	 ○ ○	 ○ ○	a:６月の実習に向けて、主体的に実習目標を立てることができる。 b:６月の実習に向けて、自らが学習したい内容と関連付けて実習目標を考察し、表現することができる。 c:特別養護老人ホーム等の概要について様々な資料や情報を収集し、適切に活用している。 d:特別養護老人ホーム等の意義と役割を理解している。	
	Ⅱ 夏期施設実習に向けて	Ⅱ 夏期施設実習に向けて 1 春期施設実習 ピアスーパービジョンを活用した振り返り	○	○	○		a: グループ活動を通じて主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。 b:ピアスーパービジョンを通じて実習の経験を考察するとともに言語化し、表現することができる。 c:実習日誌を通じて、情報を収集し適切に活用している。 d:介護現場での介護技術を理解している。	

※令和３年度以前入学生用

		2　特別養護老人ホーム・介護老人保健施設での実習（7月）とは 3　ようこそ先輩～卒業生から最終実習に向けての心構えを聞く～ 4　実習ガイダンスに向けて 5　実習の諸注意・実習目標	○ ○	○	 ○ ○	 ○ ○ ○	a:介護福祉士の先輩のアドバイスを踏まえて、主体的に実習目標を立てることができる。 b:７月の実習に向けて、自らが学習したい内容と関連付けて実習目標を考察し、表現することができる。 c:特別養護老人ホーム等の概要について様々な資料や情報を収集し、適切に活用している。 d:介護福祉士として必要とされる専門的な知識や技術を理解している。	
2学期	Ⅲ 3年間の施設実習を振り返る	Ⅲ　3年間の施設実習を振り返る（まとめ） 1　夏期施設実習　ピアスーパービジョンを活用した振り返り 2　夏期施設実習発表会	○	 ○	 ○	 ○	a:グループ活動を通じて主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。 b:ピアスーパービジョンや発表会を通じて、実習の経験を考察するとともに言語化し、表現することができる。 c:よりよい介護に向けて実習日誌など、様々な資料や情報を収集し、適切に活用している。 d:介護現場での利用者一人ひとりに応じた介護技術や知識を理解している。	・学習状況の観察 ・グループワーク ・ワークシート ・小テスト ・定期考査 ・発表
		3　実習での経験を活かした事例検討 4　介護技術発表会 5　3年間の施設実習について振り返り	○	 ○ ○	○ ○	 ○	a:グループ活動を通じて主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。 b:事例を通じて、利用者のできる部分に注目した介護技術について思考を深め、適切に表現することができる。 c:よりよい介護に向けて実習日誌など、様々な資料や情報を収集し、適切に活用している。 d:利用者のできる部分に注目し、潜在能力を引き出す介護技術や知識を理解している。	

※令和３年度以前入学生用

	Ⅳ 資格取得に向けて(1)	Ⅳ 資格取得に向けて(1) 1 介護福祉士国家試験問題(総合問題) 2 国家試験合格に向けて、自らの学習方法を考える。	○	○	○	○	a:介護福祉士国家試験の模擬試験（２回目）の結果をふまえて、合格に向けて自らの学習方法を考え、主体的に取り組んでいる。 b:国家試験の総合問題について、３年間学習してきた知識や技能を使って思考を深め、適切に表現している。 c:国家試験問題について過去問題を収集・分析し、適切に活用している。 d:介護福祉士の国家試験の出題範囲の一つである総合問題について、専門的な知識を理解している。	
3学期	Ⅴ 資格取得に向けて(2)	Ⅴ 資格取得に向けて(2) 1 介護福祉士国家試験問題(総合問題) 2 国家試験受験後の振り返り	○	○	○	○	a: 介護福祉士国家試験の模擬試験（３回目）の結果をふまえて、合格に向けて自らの学習方法を考え、主体的に取り組んでいる。 b:国家試験の事例問題について、３年間学習してきた知識や技能を使って思考を深め、適切に表現している。 c:国家試験受験後の振り返りを通じて、生涯学習の視点から自らの進路先での学習方法について活用することができる。 d:施設実習での経験をふまえて、介護福祉士として必要とされる専門的な知識や技術が身に付いている。	・学習状況の観察 ・ワークシート ・小テスト ・定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。